

1月22日(木) 手を動かす

「ピアノは脳によい」「そろばんをする
と頭あたまが良くなる」「お手伝てつだいを上手じょうずに
で出来る子はかしこい子」という話を
聞いたことはありますか。

「東大生とうだいせいの2人に1人がピアノを
なら習ならわっていた」というアンケート結果けっかもあります。では、なぜ「ピアノは脳のうによい」といわれるのでしょうか。手を器用きょうに使うことが脳のうをきたえるそうです。手を器用きょうに使うのはピアノだけではありません。工作こうさくだって、お手伝てつだいだって、なわとびを片付かたづけるのも同じです。

フランスの研究けんきゅうでは、ペンチで作業さぎょうをしているときには、勉強べんきょうする時ときと同じ脳の場所おなが活発のうに働ぱしょいていたというのです。工具こうぐを使って工作こうさくすることで、勉強べんきょうするときの脳のうをきたえることができるらしいです。おもしろいですよね。

図工ずこうや音楽おんがくなどで手てを使う活動かつどうは、頭あたまをきたえてくれるということなのでしょう。何事もていねいに、きちんとやることは、自分じぶんを磨みがくことになるのです。

